

## 1 防火対象物が巨大な規模となっていることに関する検討課題

### (1) 自衛消防活動関係について

#### 課 題

ア 防災センターに必要な機能、レイアウト等についての整理

防災センターの基本的な役割、設備、位置、数、構造等や複数の防災センターを設ける場合の連携等のあり方など

イ 非常用エレベーター、消防隊進入経路、特別避難階段等消防活動上必要な施設の配置についての整理

#### 検討の進め方(案)

- 大規模・複雑化した防火対象物における防災センターの実態について調査、整理  
⇒ 防災センター設置等のあり方について取りまとめ  
(法令上の基準化やガイドライン策定等を検討)

- 大規模・複雑化した防火対象物における防災センター、消防隊進入口、非常用エレベーター、特別避難階段の配置実態及び想定される災害対応の状況について調査、整理  
⇒ 消防活動上必要な施設のレイアウト等のあり方について取りまとめ  
(法令上の基準化やガイドライン策定等を検討)

課 題	検討の進め方(案)
<p>ウ 自衛消防活動における消防隊との連携や円滑な災害対応を行うために必要な訓練及び教育のあり方についての整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育、訓練の実態について調査、整理</li> <li>⇒ 自衛消防組織に対する教育、訓練カリキュラムのあり方について取りまとめ (ガイドライン策定等を検討)</li> </ul>

## (2) 評価手法関係について

課 題	検討の進め方(案)
<p>ア 規制の適用単位の基本的な考え方の整理</p> <p>複数の棟からなる大規模・高層の建築物や渡り廊下や地下街の接続について、必要な防火安全対策を確保していくために効果的・効率的な規制の適用単位の考え方など</p> <p>イ 極めて大規模な防火対象物における避難・警報の基本的な考え方や非常放送の鳴動区分についての検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模・複雑化した防火対象物に対する消防法令規制の適用単位について、ケーススタディを実施</li> <li>⇒ 火災予防上の規制の適用単位を区分する際の判断要素を明確化 (今後の評価作業に際して活用)</li> <li>・ 極めて大規模な防火対象物における、火災警報・避難の基本的な考え方についてケーススタディを実施</li> <li>⇒ 典型的な鳴動区分の設定例を提示 (今後の消防機関の審査事務に際して活用)</li> </ul>

## 2 防火対策の関係者が極めて多数にわたることに係る検討課題

- (1) 多数のテナント等が常に変化し続ける状況において効果的な防火安全対策を確保する方策のあり方(特に全体・部分の管理責任者・消防計画・消防用設備等設置のあり方、届出・検査等手続方法)
- (2) 共同で防火管理を行うために効果的な組織体制及びその確保方策のあり方
- (3) 防火安全対策の確保における所有者・管理者・占有者等の適切な役割分担のあり方

課 題	検討の進め方(案)
<p>【(1)の課題】            多数のテナントで事業所・従業員が頻繁に入れ替わり、工事やそれに伴う臨時措置も恒常的に行われているという常に変化し続けている状態に応じた、効果的・効率的な防火安全対策の確保方策を検討することが必要</p> <p>【(2)の課題】            ア 多種多様な所有・管理形態に応じ、適切な管理を実施していくための組織体制のあり方を検討することが必要(特に現行の共同防火管理協議会制度の有効性・限界の検証)            イ 複数の管理者が協力して適切に管理を行っていくための組織体制のあり方を検討することが必要(特に現行の統括防火管理者制度の有効性・限界の検証)</p> <p>【(3)の課題】            所有・管理形態の多様化、テナントの用途・規模の多様性等の中で、必要な防火安全対策を確保していくため、所有者、管理者、占有者等の間で適切な役割分担を検討することが必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災予防の実効性向上作業チームにて検討予定</li> </ul>

#### (4) 利用者への安全情報の提供方策のあり方

##### 課 題

現行の防火対象物点検報告制度の表示制度(点検済表示・特例認定表示)について、多数のテナントがある場合のより効果的な表示方法を検討

##### 検討の進め方(案)

- ・ 火災予防の実効性向上作業チームにて検討予定

#### (5) 防犯セキュリティ対策との関係のあり方

##### 課 題

テナント単位で各種のセキュリティシステムが導入されている状況において、平常時・災害時における関係(特に自衛消防活動・消防隊の活動との関係)について検討

##### 検討の進め方(案)

- ・ 1(1)アと合わせて整理

### ● 3 個別の具体的な対策に係る検討課題

#### (1) 効果的な自衛消防体制を確保する方策のあり方

課 題	検討の進め方(案)
<p>ア 本部隊・地区隊(末端の従業員)が全体として効果的に自衛消防活動を行っていくための組織体制、緊急時の指揮命令等、消防訓練等のあり方について検討</p> <p>イ 自衛消防組織の構成員についてその役割に応じた必要な練度を確保するための方策(資格、教育、訓練等)について検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1(1)ウと合わせて整理</li> </ul>

#### (2) 大規模防火対象物における避難対策の基本的な考え方

課 題	検討の進め方(案)
<p>ア 極めて高層の場合の避難の基本的な考え方について整理(途中階までの避難、水平避難、エレベーター避難等)</p> <p>イ 自力避難困難者(身体等の障がい、外国人等)に対する避難誘導の基本的な考え方について整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 極めて大規模な防火対象物における、避難の基本的な考え方についてケーススタディを実施、論点を整理</li> </ul>

## 4 その他の検討課題

### (1) 地震防災・NBC災害対策との関係のあり方

課 題	検討の進め方(案)
防災管理制度の導入により、火災時の対応と地震・NBC災害対策等との対応内容の差異と必要な体制の考え方について整理が必要(特にターミナル施設等における外部の人の流れの影響等)	・ 1(1)ア及びウと合わせて整理

### (2) 防火安全対策の構築と行政の規制・指導等のバランスのあり方

課 題	検討の進め方(案)
個々の差異が大きい大規模防火対象物において、関係者が主体的に安全対策を講じていく必要性と、必要最低限の安全性を確保する観点により消防機関等による規制・指導・技術的サポート等のバランスをどのように考えていくべきか検討	・ 規制体系の再編作業チームにて検討予定